



平成 20 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 J P ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 山口 洋  
(コード番号 : 2749)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 荻田和宏  
(TEL 052-933-5419)

## 平成 21 年 3 月期第 2 四半期 (連結・単独) 業績との差異に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期第 2 四半期決算 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日) の当社業績につきまして、前年同期と比較し、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結業績の差異

(1) 第 2 四半期 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	第 2 四半期 (当期) 純利益
前期実績 (A)	2,936	110	199	92
当期実績 (B)	3,544	219	390	238
増減額 (B-A)	608	108	191	145
増減率	20.7%	98.1%	95.8%	157.4%

#### (2) 差異の理由

売上高につきましては、アミューズメント関連事業において、不採算店舗からの撤退を進めることにより、売上高が 703 百万円 (前年同期比 25.7%減) と減少し、飲食事業においては 1 店舗純減となり売上高は 439 百万円 (同 2.0%減) となりました。

また、子育て支援事業においては、保育所が 15 園増加し、学童クラブ 3 施設、児童館 2 施設を運営受託または新たに開設し、売上高は 2,398 百万円 (同 56.0%増) と好調に推移し、その他の事業における売上高は、オフィスコーヒー事業を現状維持し 2 百万円 (同 0.6%増) となりました。

これらの結果、当社グループの売上高は 3,544 百万円（同 20.7%増）と堅調に推移いたしました。

営業利益につきましては、子育て支援事業においては、増収にともない 298 百万円（同 166.6%増）と好調を維持し、飲食事業においては、売上高の減少にともない 54 百万円（同 8.7%減）となりました。

また、アミューズメント関連事業においても、減収にともない 38 百万円（同 53.4%減）にとどまり、その他の事業においては 1 百万円（同 551.4%増）となり、当社グループの営業利益は 219 百万円（98.1%増）となりました。

経常利益につきましては、子育て支援事業の増益が、アミューズメント関連事業と飲食事業の減益分を補い、当社グループ合計で 390 百万円（同 95.8%増）となりました。

一方、特別利益として受取保険金 142 百万円、特別損失として役員退職慰労金 74 百万円を計上し、当第 2 四半期純利益につきましては、238 百万円（157.4%増）となりました。

## 2. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期決算単独業績の差異

### (1) 第 2 四半期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	第 2 四半期（当期） 純利益
前期実績（A）	198	43	63	37
当期実績（B）	334	158	183	160
増減額（B-A）	135	115	120	123
増減率	68.3%	265.4%	191.5%	332.5%

### (2) 差異の理由

当第 2 四半期における、当社グループ内の子育て支援事業の増収増益にともなう経営指導料が増加し、売上高は 334 百万円（同 68.3%増）となりました。

売上高が増加したことにより、営業利益 158 百万円（同 265.4%増）、経常利益 183 百万円（同 191.5%増）及び純利益 160 百万円（332.5%増）となりました。

以上